



# みんなで創ろう コウノトリの里

今回のテーマは、

～生きものにやさしいお米づくり～

Vol. 8

です!

このコーナーでは、本市に縁の深いコウノトリや豊かな自然環境とその保全に向けた取り組みなどを取り上げ、本市が進める「人にも生きものにもやさしいまちづくり」についてご紹介します。

問い合わせ／地域活性化特命チーム（内線2112）

## 鴻巣コウノトリを育むモデル水田づくりプロジェクト

本市は、市域のおよそ半分が農地（水田26%、畑23.3%）として利用されており、人にも生きものにもやさしいまちづくりを進めるうえで、農業は大きな役割を担っています。生きものに配慮した農業として、市内では無農薬・有機栽培によるお米づくりが年々拡大しています。

こうしたお米づくりに取り組んでいるのは、生産者や地元住民の方々、市民団体などが参加する「鴻巣コウノトリを育むモデル水田づくりプロジェクト」の皆さんです。取り組みは、平成24年に23アール（1アール＝10m×10m）でスタートし、今年は116アールまで拡大しています。

このお米づくりの特徴は、種もみを温湯で消毒しているほか、田植えと合わせて米ぬかを撒き、水を濁らすことで雑草の種子の発芽を抑えるなど、農薬を使用しない工夫をしています。また、生きものに配慮するため、田んぼから水を抜く中干し（土用干し）をおたまじゃくしが蛙になるまで延期したり、田んぼと水路を行き来するための魚道の設置、田んぼの一部のピオトープ化、稲刈りをした後の冬期の田んぼに水を入れるなどの取り組みをしています。

生きものに配慮した農業が広がることは、生きものはもちろん、その土地で生活し、生産された農産物を食する私たち人間の生活をより安全・安心に、そして豊かにします。鴻巣コウノトリを育むモデル水田づくりプロジェクトの取り組みが、市内で大きく拡大することが期待されます。



無農薬栽培水田での  
生きもの観察



生きものが田んぼと水路を  
行き来するための魚道

### 鴻巣コウノトリを育むモデル水田づくりプロジェクトの参加団体

- 小谷南グリーンネット
- JA鴻巣市特別栽培米部会有志
- NPO法人鴻巣こうのとりを育む会
- (公財)埼玉県生態系保護協会
- NPO法人民間稲作研究所（協力団体）

### ひなちゃんの豆知識



雪が積もったふゆみずたんぼ

「ふゆみずたんぼ」って言葉を知っているかな？ふゆみずたんぼは、稲刈り後の冬の水田に水を張ったもので、小さな菌類やユスリカ、イトミミズから大きな水鳥まで、さまざまな生きものでにぎわうオアシスになるんだ。

ふゆみずたんぼをすることで、水田に残っているワラや稲株は、春には藻類の栄養源になるほか、菌類やイトミミズなどの働きで、天然の良い肥料になるよ。他にも、イトミミズの仲間がたくさん糞をすることで、雑草の種を1年で10cm近く埋めてしまうこともある「とろとろ層」を土の上に作るんだ。

ふゆみずたんぼは、土をつくったり生きものを育んだり、色々な効能があるんだね。

(参考)環境省東北地方環境事務所「ふゆみずたんぼパンフレット」

